

2026年4月入学（第1回）入学試験問題用紙
Entrance Examination for April 2026 (1st Application) Questions Sheet

専門科目 Subject

食料環境政策学

1. 生態系サービスに関連する政策措置に関する以下の文章を読んで、設問に解答しなさい。

（柴田晋吾(2019)『環境にお金を払う仕組み—PES が分かる本』大学教育出版より引用，一部改変）

問1 生態系サービスは，その機能別に4つのサービスに大別できるといわれる。それらをすべて列挙しなさい。

問2 下線(a)に関して，「政府による規制」，「参加型」，「市場による環境管理」の長所と短所をそれぞれ説明しなさい。

問3 下線(b)の具体例を1つ挙げ，取り上げた例がなぜ「非市場」なのかを説明しなさい。

2. 食料自給率・食料消費構造に関する以下の文章・図表から、設問に解答しなさい

我が国の熱量ベース食料自給率は長期的に低下傾向が続いている。食料自給率の中長期的な低下要因として様々な要因が指摘されている。その要因として、(a) 食料消費構造の変化や我が国の農業生産の発展・展開方向の違いが指摘されている。

一方、食料自給率の低下の要因として指摘される食料消費構造の変化は、我が国の経済成長に伴うものと言える。(b) 一般的に経済成長による所得向上は食料消費構造を変えると同時に、家計支出における食料消費比率を低下させると指摘されている。我が国における食料自給率の長期低下の背景には、農業生産の課題に加えて、経済成長に伴う食料消費の変化があると言える。

図1 食料自給率の推移

資料：令和5年度食料・農業・農村白書より

問1 図1・表1における我が国の食料自給率・食料消費構造の変化から、下線部(a)で指摘されている食料消費構造の変化や農業生産の展開・発展方向を踏まえて、我が国の供給熱量ベースの食料自給率の低下要因について説明しなさい。

問2 下線部(b)によれば、所得の増加とともに家計の消費支出に占める食料消費の比率（エンゲル係数）が低下するとされている。しかし、図2によると、近年の我が国のエンゲル係数は低下傾向とみることはできない。その理由について、図2のグラフから読み取れる内容から説明するとともに、エンゲル係数が低下しないことは何を意味するか貴方の考えを述べなさい。

問3 エンゲル係数が継続的に低下しない、または増加傾向にあることを踏まえ、日本社会にどのような食料・農業政策が必要であろうか。貴方の考えを述べなさい。

表1 1965年度と2023年度の食料消費構造の比較

資料:「令和5年度食料自給率について」及び『令和5年度食料・農業・農村白書』より作成

図2 日本の勤労者世帯の平均月の実収入・消費支出・食料費支出の推移
資料:総務省「家計調査年報(2010年まで)」及び「家計調査(2017年)」より